



## ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

# 留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから  
出会いを創造し活性しよう

## プログラム

- 本日  
行灯準備例会（社会奉仕委員会）  
ご夫人誕生日  
7月26日 西谷 明美
- 次週予定  
行灯例会（社会奉仕委員会）

No. 2289

第4回 7月25日



前  
例  
会

会員総数……………51名  
出免会員……………5名  
欠席会員……………0名  
出席率……………100%

前  
々  
会

第1回 7月4日  
欠席会員……………8名  
メイクアップ……………1名  
修正出席率……………82.61%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 📎 会長報告 ……………

- 本日午後4時30分よりガバナー・ガバナー補佐をお迎えして、会長幹事会を開催いたしました。
- 本日は留萌祭りの最中、後祭りです。忙しい中での3クラブ合同例会に出席ありがとうございます。

### 会報受領先

- ・深川RC 2364号～2365号
- ・砂川RC 1821号～1823号

### ゲスト

国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 酒井 正人様(函館五稜郭)

### ビジター

国際ロータリー第2510地区  
第1グループガバナー補佐  
舟橋 隆宏様(羽幌)

## 📎 幹事報告 ……………

- 1) 国際ロータリー第2510地区より10月20～21日、函館市で開催されます地区大会の案内が来ています。
- 2) 滝川RCより活動計画書、前年度活動報告書が届いています。
- 3) 深川RCより活動計画が届いています。

## 👤 委員会報告 ……………

社会奉仕委員会 西谷(英)委員長  
あんどん祭りまであと2週間となりました。  
明日よりあんどんの製作を行いますので、会員皆様のお手伝いをお願いします。数は力ですの

で、皆様のご協力をよろしくお願いします。

## 3分間情報……………

会員研修委員会 澤田委員長

### 「弁護士 ポールPハリス」

法の世界では平和自由人権が最高の目的ですが、平和を追求するには刑事事件に該当するような事も必要であり、場合によっては国家社会との闘争も避けられない事もあります。

弁護士の業務はこうした両面を持ち合わせていなければならない、ポールハリスはロータリーが「4つのテスト」を掲げているために闘争は好まなかったと思われます。

1896年(明治29年)に5年間の経験を終えたのち弁護士事務所を開設した同氏は、看板を掲げることと商売とは別だと気付き、愕然としました。当時シカゴには顧客獲得に奔走する弁護士が2万人以上もいたといわれていたからです。

ハリスが悪戦苦闘している年に、破産法が議会を通過し、その法律の巧みな運用によって閑散としていた事務所が急激に活気付き、「ハリス・ドット法律事務所」を設立拡大しました。

ハリスは、シカゴの弁護士会、記者クラブ、ボヘミアンクラブ会員として、また商工会議所でも活躍しました。クラブでの職業分類は弁護士、法人不動産相続となっており、刑事事件や家庭問題の訴訟がらみのものは手掛けず、法律コンサルタントに重点を置いていたようです。1947年(昭和22年)77才まで法律事務所の仕事を続けました。

## ニコニコBOX……………

・お世話になります 酒井ガバナー

|     |          |
|-----|----------|
| 前 回 | 211,000円 |
| 今 回 | 5,000円   |
| 累 計 | 216,000円 |

## プログラム……………

「ガバナー公式訪問」 酒井ガバナー  
先ほど会長幹事会を開催し、3クラブの活動

等についてお話を聞かせていただきました。その中で、3クラブが他のクラブとは少し違う所に気が付きました。1つのクラブは小さなクラブで、後の2つのクラブは、1つは会員減少が進んで現在止まっているクラブ、もう1つはここ数年同じ位の数を維持しているクラブです。それは最近会員減少が叫ばれる中、会員が減っていないという素晴らしい事で、この秘訣を3クラブに教わりました。これは他のクラブにも教えなければならないと思います。一番驚いたのは、たいてい新会員を入れる場合は騙して入れるのが多いですが、実は私もガバナー補佐を引き受けさせられた時などは、仕事は楽だから引き受けてくださいと言われ、後になってこんな事聞いていなかったと思いました。多分舟橋さんもそうだったと思います。ガバナーを引き受ける時も、こんなにきついものだと思いませんでした。これは騙してでもつながなければならないという気持ちが大きかったのだと思います。しかしながら、びっくりしたのは会員を増強するのに、ロータリーの本筋・本音を話して新会員を勧誘したと聞いたことです。最近はやもすれば入ってくれるだけで良いとか、入らなければ仕事を回さないと行って入会させるのが多く、仕事が忙しくて普段出て来れないのではと思うような人を説得して入会させ出席させるという、ロータリーの王道での勧誘を実行している事に感銘を受けました。やもすれば、無理やり入れた会員は最近マスコミを騒がすようなロータリアンとしては如何なものかと思うような、つまりロータリーの理念に反する会員も出てきていますが、このような勧誘においてはその様な会員は出てこないだろうと思います。このような事から3クラブとも立派な活動をされており、今後益々発展される事を期待いたしております。

さて今年の1月29日から2月3日まで、アメリカ・カルフォルニアのサンディエゴで、国際協議会が開催され、世界532地区からガバナーエレクトがあつまり、そこでウィルフリッド・ウィルキンソンRI会長(当時はエレクト)が今年度のテーマの「ロータリーシェアーズ」を発表されました。本来ですと数日後に日本語訳

が発表されるのですが、近年は発表と同時に「ロータリーは分かちあいの心」という日本語訳も発表されました。じつは私はこの訳について少し疑問を感じております。ロータリー、シェアーズつまりこの2つの単語が日本語訳ではロータリー、分かちあい、心と3つの単語になっているという所です。他の国の単語を見ますと、韓国語などは読めませんが、大抵が2つの単語になっていました。日本語だけ3つの単語で、この心という文字が入っていたからです。ロータリーは分かちあう、共有するという意味だと思いますが、この心を持つという意味なのかもしれません、日本特有の哲学的表現であり、良いか悪いかは判断できませんが、実際はその心の後に「心を持って行動」という言葉が隠れているのかもしれませんが。さてこの「ロータリーシェアーズ」複数形のSで(2つ以上あるという意味)ですが、これはいったい何なんでしょうか。1つはロータリーは分かちあう。もう1つはロータリーを分かちあうです。つまりロータリーは分かちあうという事は、皆さんの持っている、時間・才能・知識・資金を分かちあう。それと同時に思いやりと情熱、恵まれない人を助けよう、より良い世界を築こうという決意と情熱、そういったものがロータリーは分かちあうなのだろうと思います。いわゆるロータリーの奉仕であり、国際奉仕もあれば、青少年奉仕もあり、社会奉仕もあります。つまりロータリアンの持っている力を分かちあうという事だと思えます。もう1つはロータリーを分かちあうですが、これはロータリー組織の未来のために後継者を育成しなければならない、未来のロータリーのためにロータリーを分かちあうという事です。クラブは年々平均年齢が上がってきております。新しい会員を入会させなければ、最後は終結してしまいます。ここで1つの例がございます。神奈川湘南ロータリークラブです。ちなみに皆さんは社長とか、専務とか支店長とか、全ての人が経営に携わる方々ばかりだと思えます。神奈川湘南ロータリークラブは、全ての人が経営に携わっている方ではありません。じつは全てサラリーマンですが皆が財団学友の方々なのです。従いまして給与も知

れていますので、確か年会費は7万円だったと思います。当然の事として財団や米山、その他の活動資金が足りなくなります。それを補うためにチャリティーを行なうそうです。自分達で楽器を弾いて音楽会を開いたりしてその益金を寄付金に当てているそうです。この方々は経営者ではありませんので時間の自由がききません。財団学友ですので語学力は堪能で、海外へ出てバリバリ仕事をしています。例会に出席出来ないことも多いそうです。そこでインターネットを使つてのテレビ電話のようにして参加をして活性化を図っているそうです。食事も皆が持ち寄って食べているそうです。これはR Iでも話題になってR I会長も視察に来たそうです。それで直接は関係ないのだと思いますが、今年4月に行われた規定審議会で07-57の制定案として通ったそうです。この7月1日から発行される手続要覧にはそのまま載るようです。内容は、ロータリー財団学友が正会員となる事を認める件ということです。湘南ロータリークラブは経営者ではない学友が作ったクラブですが、私たちの様なクラブでも経営者でなくても学友であれば入会が可能となったことです。さて話は戻りますが、ロータリーシェアーズ・ロータリーを分かちあうですが、これは不要になったものを分かちあうのではないのです。たとえばおなかを空かした人に食事を施すのではなく、お金を渡したりするではありません。一番自分が大切にしている物を分け与えるのです。つまり食卓を共有するという事、おなかを空かした人がいたなら、この場に招き入れるという事です。これがシェアーズです。日本語で言えば私は分かちあうより共有する、のほうが良いのではと思います。シェアーズという言葉の意味は色々な使われ方をします。割り勘もそうです。そういう事で日本語訳では、ロータリーは分かちあいの心...の後に、をもって行動していただきたいとなるのだと思います。

話をもどしますが、私が国際協議会で大変感動した事があります。R I会長がガバナー 532 人に向けて言った言葉です。その気持ちを共有出来るのならイエス・イエス・イエスと言ってくださいとの事で、握りこぶしを突き上げて言

## 第3回 7月18日(水) 天候/晴

いました。

ロータリーを愛していますか。

ロータリーに奉仕しますか。

ロータリーを分かちあいますか です。

また、R I 会長がスピーチの中で朗読をした詩があります。スティファングレイと言うかたの詩です。

この人生はたった1度かぎりの旅だと思っから、私に出来る良いこと、私がして上げれる親切なら、どんな事でもさせて下さい。再び引き返してくる事がないのなら、先延ばししたり、等閑にしたりしたくはないのです。

これは今のロータリーは今しかなく、今年度のロータリーも今年度しかないという事なのです。今出来る事は今しましょう。という意味だと思います。これについては私は帰国してからネットで調べましたが、別な訳がありましたので、それもお話いたします。

この人生は1度しかない。だから私に出来る親切な事や、良い事があるのならば、後にではなく、今やらせて下さい。二度と通らぬ人生の旅路だから です。

さて、今年度も皆様に毎年100ドルをという皆様も耳にタコが出来るくらい聞いておられる事をお願いしていますが、今日はこの話は置いておきまして、ロータリー財団でもう1つ今出来る事をお願いします。それは各クラブの会長幹事さんにお話をさせていただきました。それはロータリーカードでございます。これも皆さん耳にタコが出来るだけ聞いたことがあると思います。これはオリココーポレーションが発行しているマスターカード年会費は無料です。ゴールドカードになりますと年会費6千円かかりますが、入会金もありません。これに日本のロータリアン5000名の方々が持っていただくと使用額の0.3%がロータリーの財団にバックされます。現在日本で4826名(6月25日現在)で、昨年このカードの使用が6億2千万円が使われており、5000名の会員が揃っていたら財団には約1800万円が入っていたはずなのです。あと会員174名の会員が入会していただければ、財団の資金となります。ちなみに2510地区では340名で日本で5番目となっております。ぜひ皆さ

ん、お金のかからない奉仕ですので、ご協力をお願いします。

最後に規定審議会についてふれ、終りたいと思います。規定審議会は3年に1回開催されませんが、今年度は4月22日から27日までの間、シカゴで開催されました。当地区からは伊藤長英P Gが出席されました。300数件の議案が出され、立法案と決議案として通りますと、立法案は法律ですので、7月1日から施行されます。決議案はその案件を理事会に送られます。ここで吉報ですが、立法案で日本のロータリアンが最も望んでいたことが通ったという事です。それは四大奉仕という言葉と内容がロータリーの標準定款に取り入れる件、というのが決まりました。従いまして今年度発行の事務要覧に掲載され、皆様のクラブ定款にも載ることになります。これはR I 理事会提案ですが、日本の理事が提案した事です。また残念な事もあります。R I の第2標語である文言がゼイではなくヒーカシーとする件では決議案は通ったのですが3年後まで持ち越しとなったそうです。これは英語圏では馴染まないとの事で、3年後にはワンにして検討する事になったそうです。これは複数形か単数かという問題で、ロータリーは単数であるということを言っているのです。

最後に2つお願いがございます。1つは来年6月15日~18日に開催されるロサンゼルス国際大会への出席でございます。お金と時間がかかりますが、分かちあいの心で何卒出席をお願いしたいと思います。ちなみに、当地区の出席要請は135名となっております。今まで達成した事はありませんので無理とはわかっておりますが、半分でも達成したいと思っております。よろしく申し上げます。もう1つは10月19日のゴルフ大会から始まり、20日の本大会、21日のセミナーでございます。この地より500キロと大変離れてはおりますが、これも分かちあいの心で宜しくおねがいします。最後にロータリー家族として家族での参加も期待しております。

食事を前にしてお話をさせていただきましたが、どうぞ1年間よろしくご協力の程お願い致します。

(写真は次週掲載します)